取扱説明書

シートプリント貼付機

LABOKEY ８０２

ラボ技研株式会社

はじめに

この取扱説明書は、本機を正しくご使用いただくための手引きです。ご使用になる前には、必ず取扱説明書を良くお読みいただいて、正しい取り扱いをしていただくことをお願い致します。
また、操作がわからなくなった時や、トラブルが発生したときに参照できるように本機の近くに保管してください。
本機に貼り付けてある警告ラベルが読めなくなったり、はがれてしまった場合には弊社または販売店に連絡してください。
本機は国際的安全規格に準じた安全性の高い機械ですが、警告ラベルの事項を無視して発生するけがや、傷害に対して、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
また、本機は細心の注意を持って、保護機構・保護回路が設けられておりますが、メンテナンスの不備・使用者の操作ミス等、により発生する予測外の如何なる附則の事故に対しても、責任を負いかねますのでご了承の上ご使用ください。

特に本取扱説明書の ⚠警告、 ⚠注意 、と書かれている警告表示は、安全上重要な箇所です。取り扱いを誤りますと、重傷または、傷害などの事故が発生したり、本機を破損する恐れがあります。
本取扱説明書や警告ラベルに記載している内容は必ずお守りください。

⚠ 警告

- 弊社の同意なしに本機を改造したり、指定外の部品を取り付けたり、取り外したりしないでください。けがをしたり、本機を破損するおそれがあります。
- どうしても改造が必要な場合や、指定以外のカバーをはずしたい場合は、弊社または販売店に相談してください。
- 許可なく本機を改造したり指定以外の部品を取り付けた場合、その品質保証は負えなくなります。
- 操作中に本機から煙が出たり、外部が異常に熱くなったり、または異常な音を発する場合は速やかに使用を中止し、電源スイッチを[OFF]にし、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
- 指定された取扱説明書に従い保守作業を行うときには電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。 電源を切らない場合には、感電、けが等の危険があります。

⚠ 注意

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードの破損の原因になります。

- 取扱説明書は将来にわたって読むために大切に保管してください。
- 本取扱説明書の全部、または一部を無断で複写／転載することを禁止します。
- 本取扱説明書の内容は、予告なしに変更することがあります。

目　次

はじめに ・・・

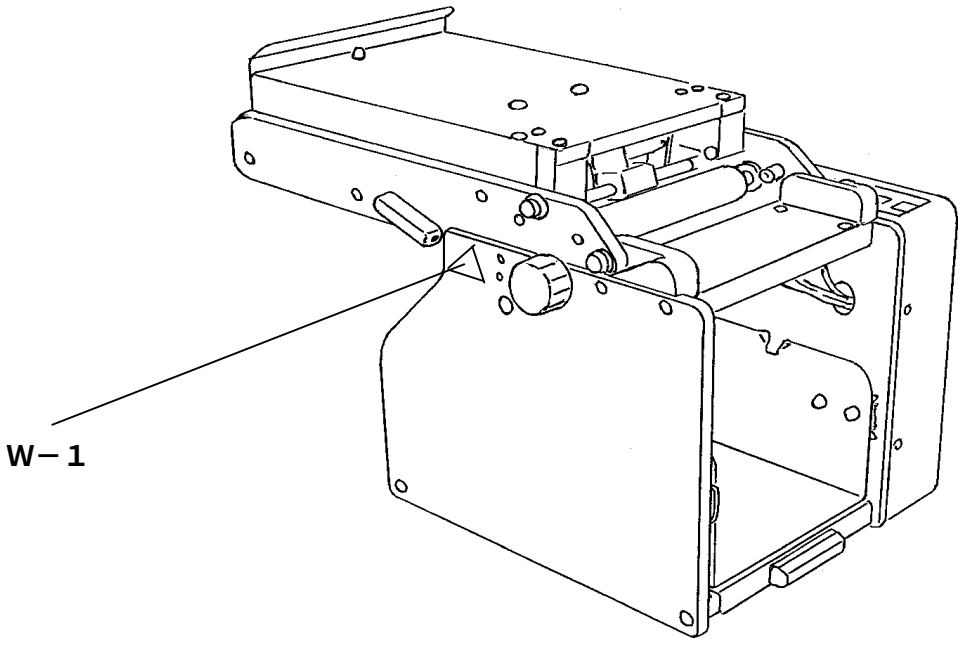
1 安 全 性

１－１　安全性ガイド（本機使用上の注意）

作 業 名	注 意 事 項	警告ラベル貼付け位置	取扱説明書の項目
ペーパーホルダーのセット	ペーパーホルダーをセットする時、手をはさまないよう、注意してください。	Ｗ－１	５－１ 貼付テープのセット ５－２ プリントのセット ５－３ 操作

１－２　警告ラベルの貼り付け位置

● ペーパーホルダーの下側に、警告ラベル〈Ｗ－１〉が貼り付けてあります。



１－３　警告ラベル

本機に貼り付けてある警告ラベルが読めなくなったり、はがれてしまった場合には
弊社または販売店に連絡してください。

ラベル貼付け位置	警　告　ラ　ベ　ル	部 品 番 号
W－１		Ｌ８０２W０１

１－４　安全性についての用語説明

安全性の注意事項には、「警告」および「注意」の二通りがあります。さらに使用上の
注意事項として、「重要」と「注」があります。それぞれの意味は次の通りです。

⚠ 警告

「警告」とは、それが避けられなかった場合、死亡または重傷を負う可能性がある危険
状況を示します。

⚠ 注意

「注意」とは、それが避けられなかった場合、中程度の傷害または重傷を負う可能性が
ある危険状況を示しています。

重 要

「重 要」は誤った取り扱いをすると性能に影響をおよぼすような項目や、機器を損傷す
るおそれのある項目について明記しています。

注

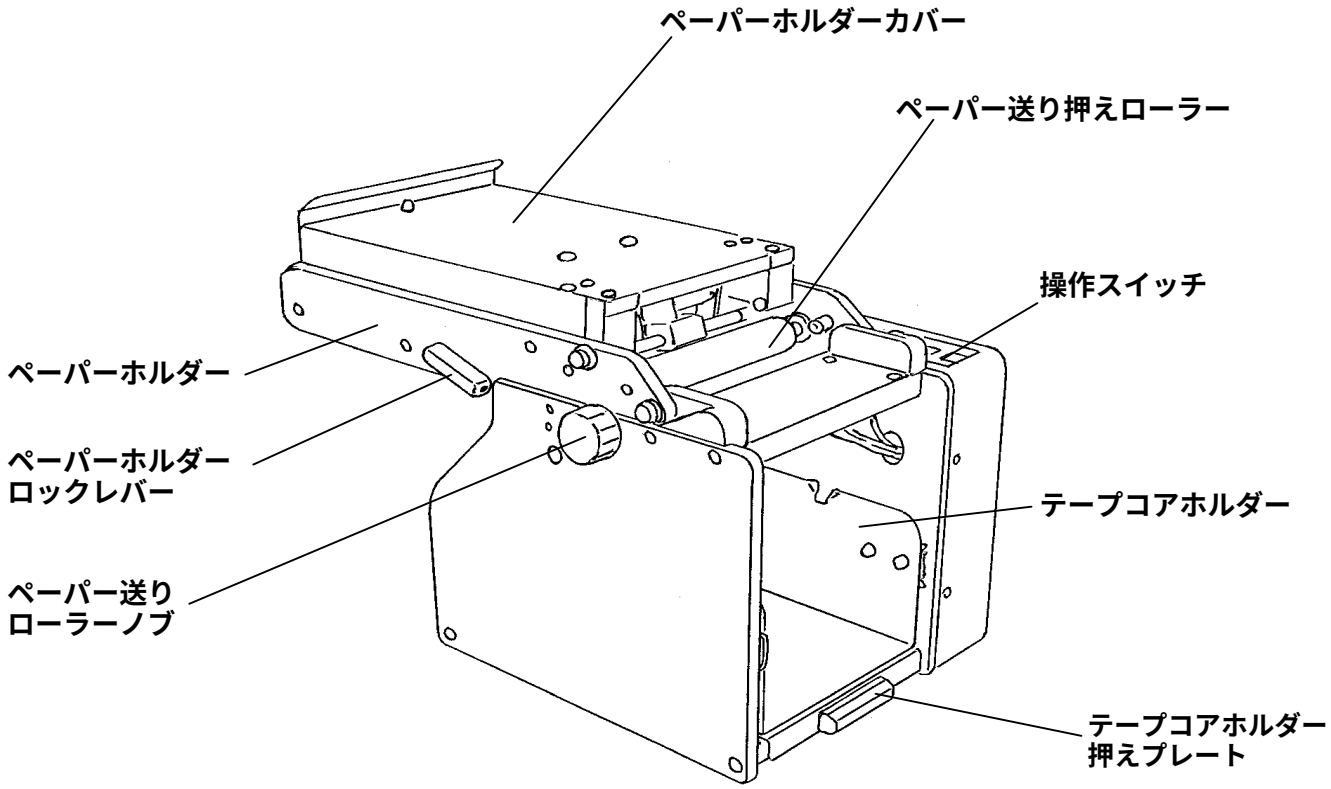
「注」は操作上特に配慮が必要な手順、守ってほしい事項、補足説明などを示します。

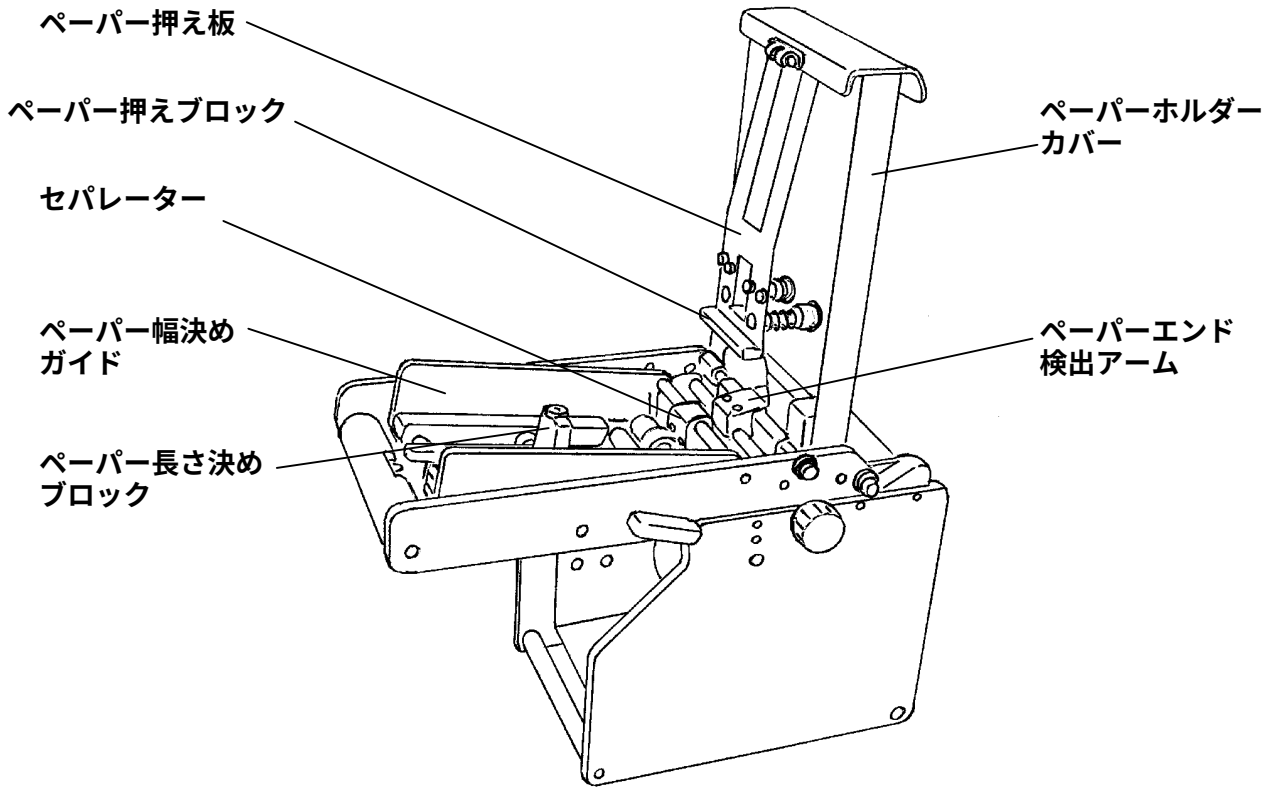
2 仕　様

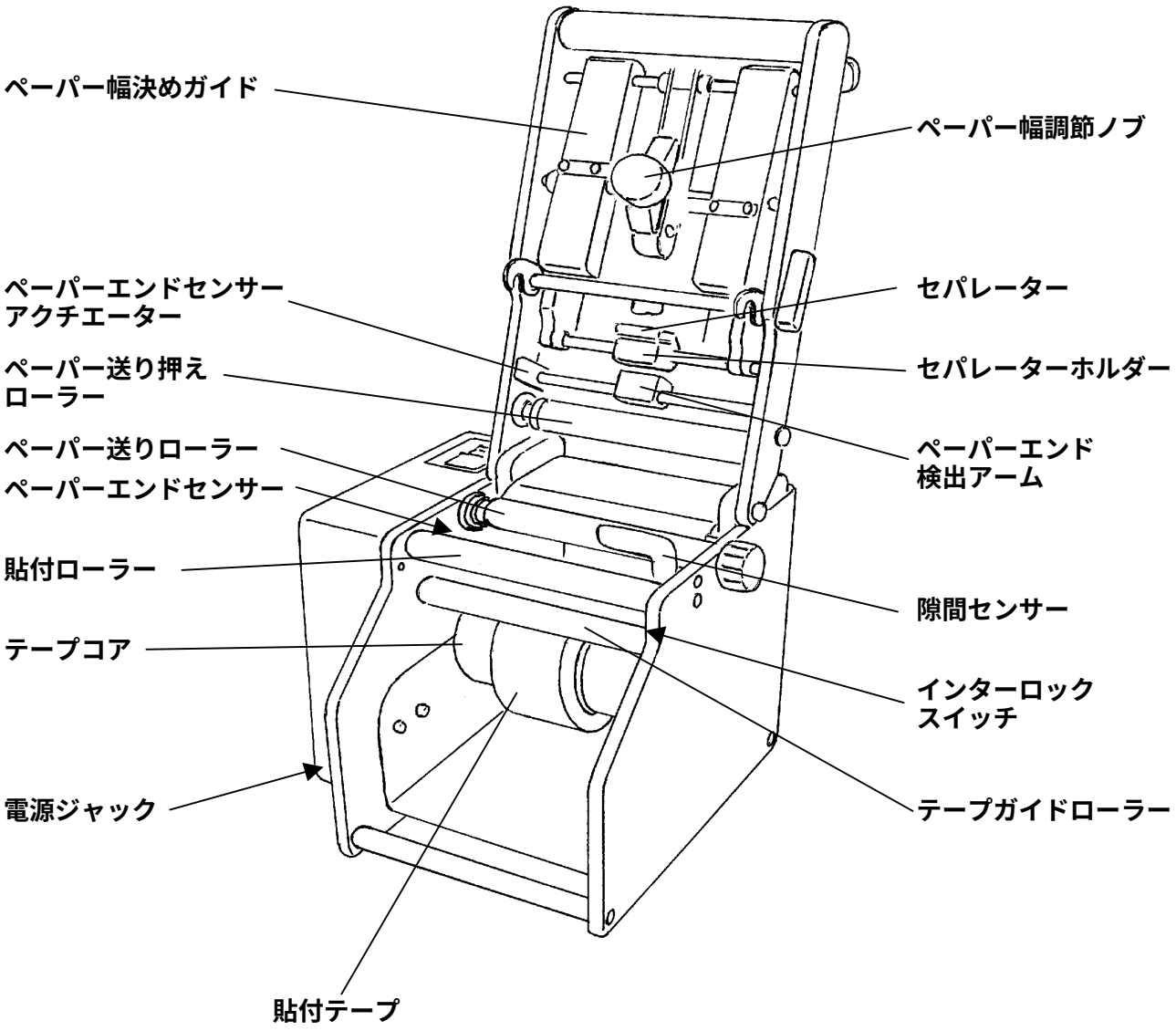
適応ペーパー幅	８９～１２７mm
適応ペーパー長さ	８９～１８０mm
ペーパー送り	フォトセンサーによる自動送り、自動停止、
	または、ペーパー送りスイッチによる自動送り
操作の安全性	隙間センサーにより、貼付のミスを監視
	ペーパーエンドセンサーによる自動停止
制御方式	マイクロコンピューター制御
シールテープ	専用シールテープ、 85㎜幅、100m巻／ 89㎜幅ペーパー用
	専用シールテープ、 98㎜幅、100m巻／102㎜幅ペーパー用
	専用シールテープ、124㎜幅、100m巻／127㎜幅ペーパー用
入 力 電 源	ＤＣ　１２Ｖ，　２．５Ａ
	専用ＡＣアダプター（入力：AC100～240V，0.8A）
大 き さ	幅４１５Ｘ奥行３２０Ｘ高さ２７５mm
重　量	約１３ Ｋｇ

注：　仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめ
ご了承ください。

3 各部の名称


ペーパーホルダーカバー
ペーパー送り押えローラー
操作スイッチ
ペーパーホルダー
ペーパーホルダー
ロックレバー
テープコアホルダー
ペーパー送り
ローラーノブ
テープコアホルダー
押えプレート


ペーパー押え板
ペーパー押えブロック
セパレーター
ペーパー幅決め
ガイド
ペーパー長さ決め
ブロック
ペーパーホルダー
カバー
ペーパーエンド
検出アーム

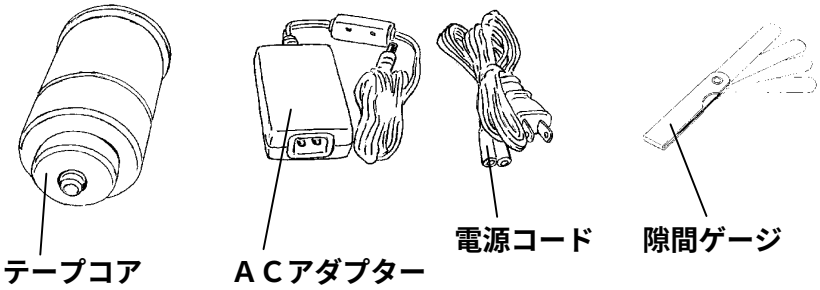

ペーパー幅決めガイド
ペーパー幅調節ノブ
ペーパーエンドセンサー
アクチエーター
セパレーター
ペーパー送り押え
ローラー
セパレーターホルダー
ペーパーエンド
検出アーム
ペーパー送りローラー
ペーパーエンドセンサー
貼付ローラー
隙間センサー
テープコア
インターロック
スイッチ
電源ジャック
テープガイドローラー
貼付テープ

4 設　置

４－１　開梱、および部品の確認

開梱して、以下の部品を確認してください。

- 本　体　・・・・・・・・・・・・・・・　１台
- テープコア　・・・・・・・・・・・・・・　１本
- ＡＣアダプター　・・・・・・・・・・・・・　１個
- 電源コード　・・・・・・・・・・・・・・　１本
- 隙間ゲージ　・・・・・・・・・・・・・・　１組
- 取扱説明書　・・・・・・・・・・・・・・　１冊



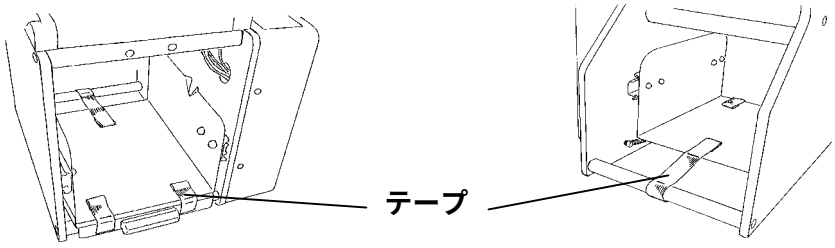
４－２　設置場所

本機を設置する環境や場所について説明します。

- 相対湿度３０％から７５％、室温５℃から３０℃の室内で使用してください。
- 振動のある場所には設置しないでください。
- 水平に設置してください。
- 部屋の温度を急速に上下しないようにしてください。急速に上下した場合、機械に結露し、電気基板の誤動作などが発生する場合があります。

４－３　ガタツキ防止用テープの取り外し

本機には輸送時にテープホルダー部のガタツキを防止するため、３ヵ所をテープで止めてあります。　本機を使用する前には必ず､テープを取り外してください。



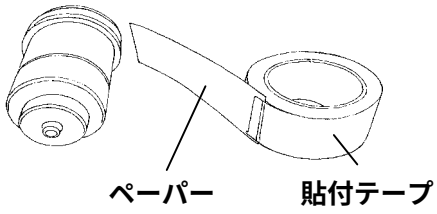
5 操作方法

⚠ 注　意　：［ペーパーホルダー］を持ち上げる場合は、必ず［ペーパーホルダーカバー］を閉じてから行ってください。

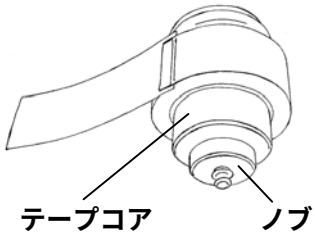
⚠ 注　意　：［ペーパーホルダー］を閉じる場合は指等を挟まないように注意してください。

５－１　貼付テープのセット

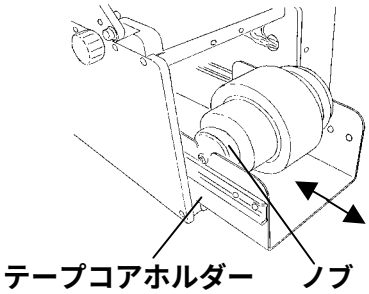
１．貼付テープにテープ幅よりやや幅の広いペーパーをまっすぐに貼り付けてください。
ペーパーの長さは１８０mm程度。



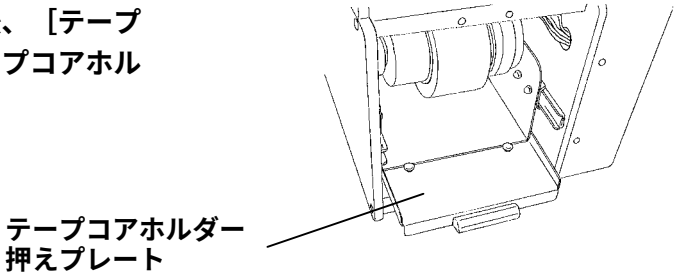
２．［テープコア］のノブを緩め、右図のように貼付テープを［テープコア］の奥に突き当たるまで差込み、ノブを締め付けて固定してください。



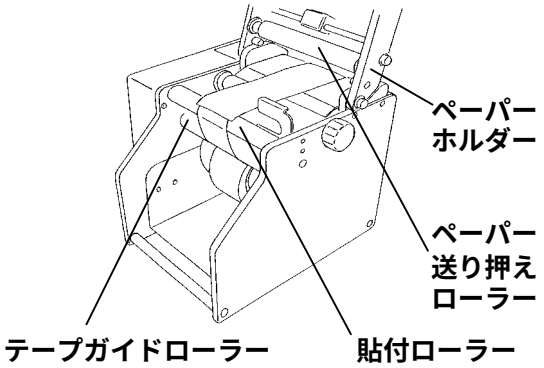
３．［テープコアホルダー］を引き出し、［テープコアホルダー］に［テープコア］のノブを手前にして、のせてください。
その後、［テープコアホルダー］を押し込んでください。



４．［テープコアホルダー］を押し込んだ後、［テープ押えプレート］を手で引き出し、［テープコアホルダー］に掛けてください。

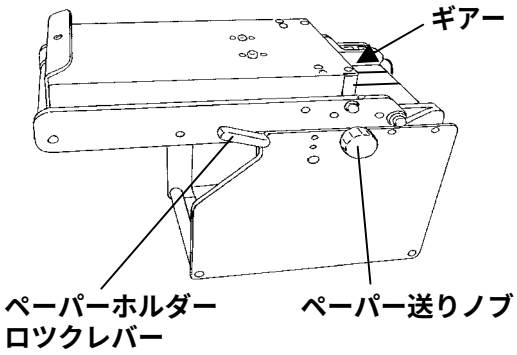


５．テープを貼り付けたペーパーを［テープガイドローラー］［貼付ローラー］の外側を通し、［ペーパー送り押えローラー］の下よりまっすぐに引き出してください。
ペーパーは［貼付ローラー］の上で止めてください。
貼付テープの糊面はは上向きに成ります。



６．貼付テープが弛まないようにペーパーを手で軽く引きながら、［ペーパーホルダー］をおろして、［ペーパーホルダーロツクレバー］で固定してください。

［ペーパーホルダー］が下がりきらずにロックできない場合は、［ペーパー送りノブ］を右（時計方向）に回して<u>ギアーをかませる</u>とロック出来ます。

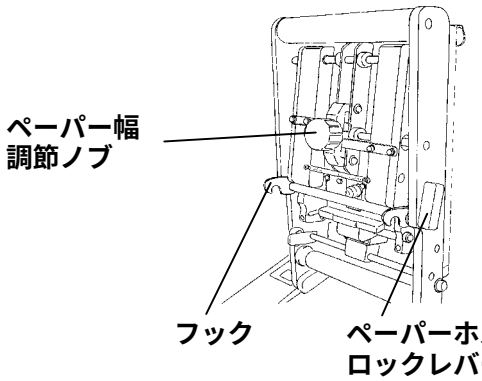


５－２　ペーパーのセット

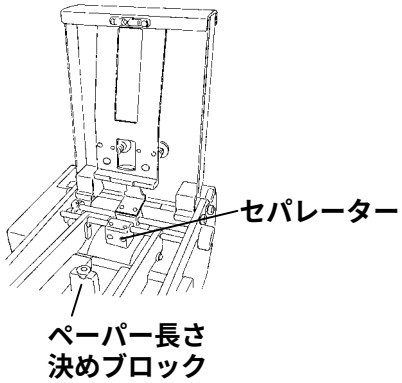
注１　：本機にセットしたペーパーは下から順に貼り付けられますので、注意してください。
注２　：重ねたペーパーの前後（特に前側）が揃っていない場合、貼付ミスの原因になります。
注３　：重ねたペーパーの左右（幅）が揃っていない場合、真っ直ぐに貼れない場合があります。
注４　：一回にセットするペーパーは、１００枚以内にしてください。
注５　：カールの強いと思われるペーパーは、７０枚以内にしてください。

貼付テープがセットされた状態から説明します。
ペーパーの幅は［ペーパーホルダー］裏側の［ペーパー幅調節ノブ］を回して調節してください。
［ペーパーホルダー］をセットしたまま、下より手で調整できます。
ペーパーのセットは［ペーパーホルダー］をロックした後、［ペーパーホルダーカバー］を開けて行ってください。

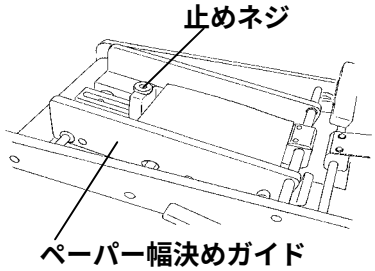
ペーパーホルダーを開けた状態



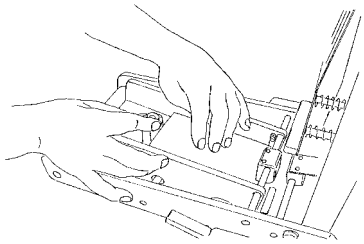
ペーパーホルダーカバーを開けた状態



１．［ペーパー幅調節ノブ］を回し、［ペーパー幅決めガイド］をペーパー幅に合わせ、先端をそろえたペーパーをセットしてください。
［ペーパー長さ決めブロック］の止めネジを緩め、ペーパー後端に合わせ固定してください。

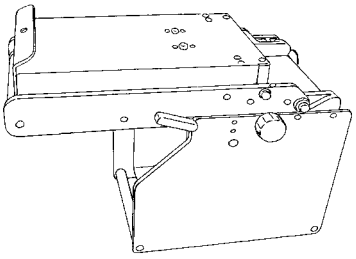


カールの強いペーパーはペーパーの中央部を押しながら、［ペーパー長さ決めブロック］の位置を決めてください。



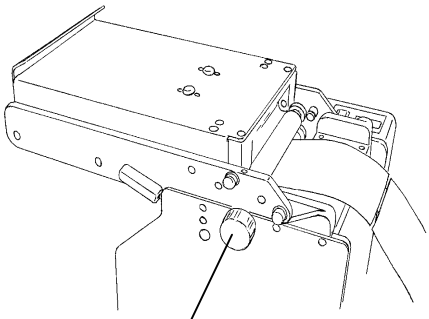
注：ペーパーの先端を必ずそろえてセットしてください。

２．［ペーパー幅調節ノブ］を１～２度、左右に回転させ
ペーパーの幅をきちんとそろえてください。
その後、［ペーパーホルダーカバー］をしっかりと
閉じてください。



３．［ペーパー送りローラーノブ］を回して、ペーパーを送り出
して、貼付状態を確認してください。
貼付状態が良好な場合は作業を開始してください。
貼付状態が不良の場合は、ペーパーのセットをやり直してく
ださい。

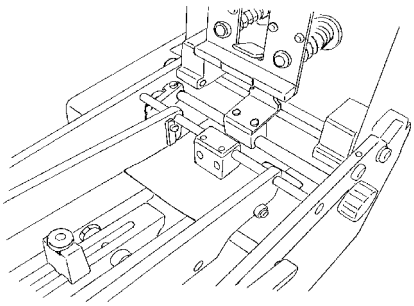
注：［ペーパー送りローラー］には「一方向クラッチ」が
装備されていますので、ペーパーを送り出す方向にのみ
［ペーパー送りローラーノブ］は回ります。



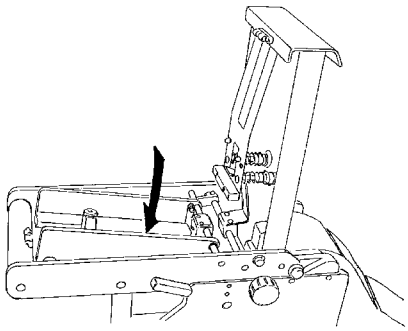
ペーパー送りローラーノブ

４．ペーパーが終了した場合は、［ペーパーエンドセンサー］の
検出により本機は自動停止します。

［ペーパーホルダーカバー］を開けると右図の状態です。
次のペーパーをセットして作業を続けてください。



５．作業の終了時には必ず、不要のペーパーを２～３枚、最後に
貼り付けてください。

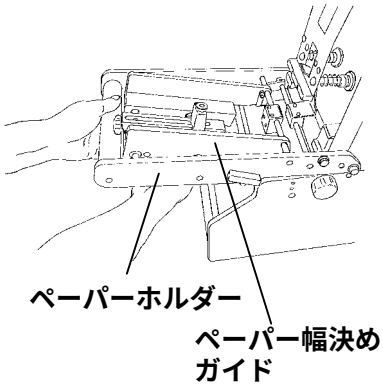


５－２－１　ペーパーの交換（狭い幅から広い幅へ）

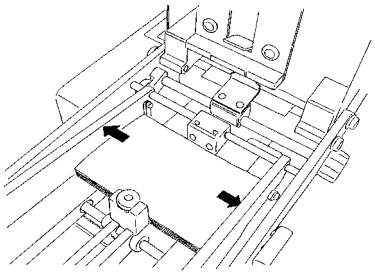
１．［ペーパーホルダーカバー］を開け、［ペーパーホルダー］裏側の［ペーパー幅調整ノブ］で［ペーパー幅決めガイド］を使用するペーパー幅まで広げてください。

［ペーパー幅調整ノブ］が回りにくい場合には、［ペーパーホルダーロックレバー］を回して［フック］を外し、［ペーパーホルダー］を手で少し持ち上げると軽く回ります

注：［ペーパーホルダー］を持ち上げると、貼付テープ、及びペーパーが弛みますので、ペーパーを軽く手で引きながら、［ペーパーホルダー］をセットしてください。



２．［５－２］の手順でペーパーをセットしてください。



５－２－２　ペーパーの交換（広い幅から狭い幅へ）

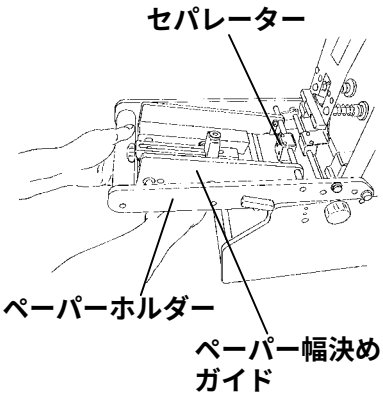
１．［ペーパーホルダーカバー］を開け、［ペーパー送りローラーノブ］を回して、［セパレーター］の約１ｃｍ手前までペーパーを送ってください。

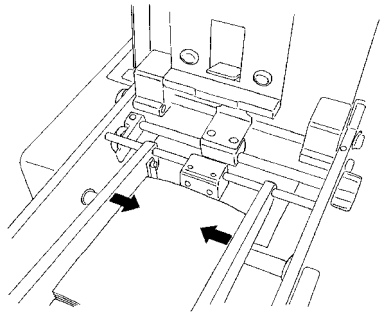
２．［ペーパーホルダー］のロックを外し、［ペーパーホルダー］を手で少し持ち上げて、ペーパーを［ペーパー幅決めガイド］から外してください。

３．裏側の［ペーパー幅調整ノブ］で［ペーパー幅決めガイド］を使用するペーパー幅まで狭めてください。

４．［ペーパーホルダー］をロックしてください。

５．［５－２］の手順でペーパーをセットしてください。





5－3 操 作

本機の機能と操作方法を説明します。
各機能とエラーは［LED］と［ブザー］で表示されます。

ブザー音の表示

ペーパーホルダーのセットミス	----------	･･･ ： 0.05秒
隙間センサーによる検出	ーーーーーーーーー	ーー ： 0.25秒
プリント･エンドの検出	ーー ーー ーー ーー	ーー ： 0.5秒

注1：警報ブザーは「START/STOP」を押した「自動貼付時」のみ作動します。
「ペーパー送りノブ」による手動送り時には「LED」の点灯のみで、警報ブザーは鳴りません。

注2：「ペーパーホルダー」が正しくセットされていない状態で、「ペーパー送りノブ」による手動送りを行うとペーパーが2枚出るなどのエラーが起こりますので十分注意してください。

注3：「ペーパー送りノブ」による手動送りを行い、貼付ミスが起きた場合、「隙間センサー」の「LED」は点灯しますが「ペーパー送りノブ」による手動送りは行えます。 この場合、貼付テープの糊がローラー等に付着しますので、「ペーパー送りノブ」による手動送りは十分注意して行ってください。

注4：「ペーパー･エンドの検出」はセンサーによる検出と、機械的な停止機構とで二重に監視しています。
ペーパー･エンドになった場合は、機械的にロックがかかり、「ペーパー送りノブ」も動かなくなります。

5－3－1 通常の操作

L802 シートプリント貼付機は下記の2種の使い方ができます。

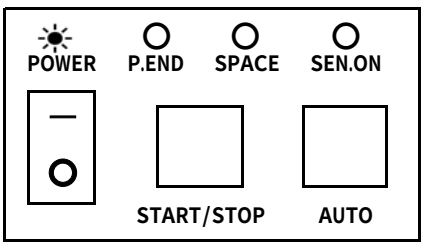
① 「AUTO」スイッチ、「START/STOP」スイッチを使用した［自動送り］。
シールプリント作成の打ち抜き作業等で、ペーパーを引く事により貼付のスタートがかかり、ペーパーが自動的に貼り付けられます。 ペーパーがたるむと停止します。

② 「AUTO」スイッチを使用しない［自動送り］。「START/STOP」スイッチのみを使用し、セットしたペーパーが無くなるまで自動的に貼り付けます。

「AUTO」スイッチ、「START/STOP」スイッチを使用した［自動送り］

1．電源［ON］
「ACアダプター」をコンセントにしっかりと差し込んでください。

「電源スイッチ」を［｜］側に押し、電源を入れてください。
「POWER」 LED が点灯します。



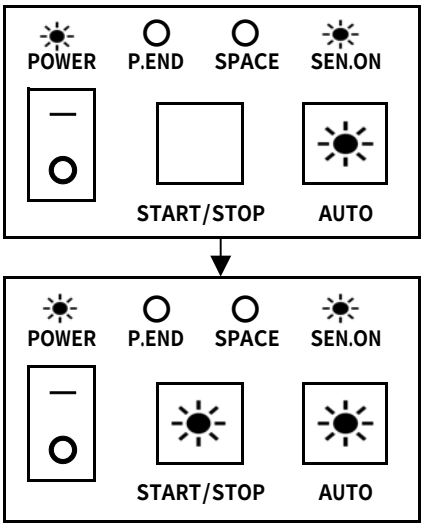
2．貼付動作の開始

［貼り付け用テープ］、［ペーパー］を正しくセットした後、

「AUTO」スイッチを押してください。 「AUTO」スイッチ、及び「SEN.ON」の LED が点灯します。
その後に、「START/STOP」スイッチを押してください。

「START/STOP」スイッチのＬＥＤが点灯し、貼付動作を開始します。
ペーパー出口の「AUTO」センサーの ON/OFF により、ペーパーが自動的に貼り付けられ、ペーパーが無くなるまで継続します。

途中で停止したい場合は、「START/STOP」スイッチを押してください。「START/STOP」スイッチのＬＥＤが消灯し、動作は停止します。



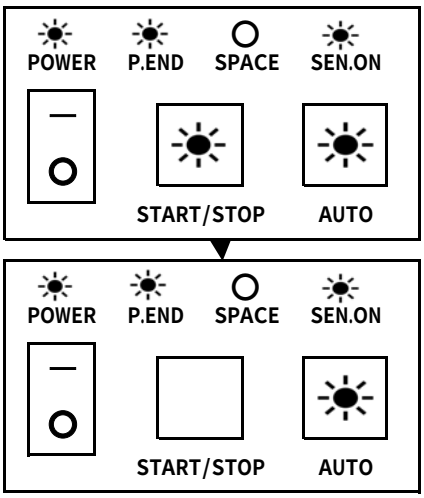
3．ペーパーの終了の表示

貼付用のペーパーが終了した場合は「P.END」の ＬＥＤ が点灯し、動作は停止、ペーパー終了のブザーが鳴ります。

ペーパー･エンドの検出ブザー音	―― ―― ―― ――

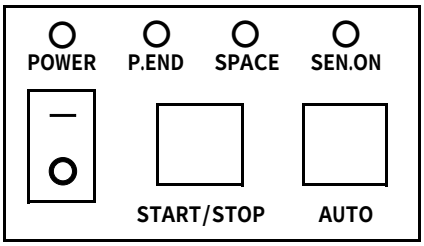
「START/STOP」スイッチを押すと「START/STOP」スイッチの ＬＥＤ が消灯し、［ブザー音」は停止します。

貼付用プリントをセットすると「P.END」の ＬＥＤ は消灯し、貼付を開始できます。



4．電源［ＯＦＦ］

「電源スイッチ」を［O］側に押し、電源を切ってください。
「POWER」 ＬＥＤ が消灯します。
「ＡＣアダプター」をコンセントから抜いてください。



「AUTO」スイッチを使用しない［自動送り］

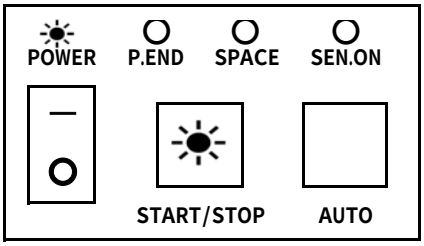
電源の ON/OFF は省略します。

1．貼付動作の開始

［貼り付け用テープ］、［ペーパー］を正しくセットした後、

「START/STOP」スイッチを押してください。
「START/STOP」スイッチのＬＥＤが点灯し、貼付動作を開始します。
ペーパーが無くなるまで貼付動作は継続します。

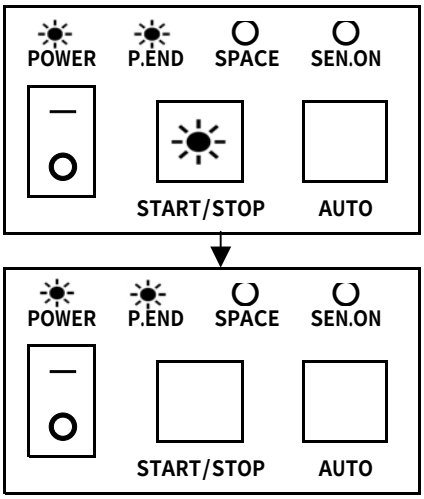
途中で停止したい場合は、「START/STOP」スイッチを押してください。「START/STOP」スイッチの ＬＥＤが消灯し、動作は停止します。



2．ペーパーの終了の表示

貼付用のペーパーが終了した場合は「P.END」の ＬＥＤ が点灯し、動作は停止、ペーパー終了のブザーが鳴ります。

ペーパー･エンドの検出ブザー音	ーー ーー ーー ーー



「START/STOP」スイッチを押すと「START/STOP」スイッチの ＬＥＤ が消灯し、［ブザー音」は停止します。

貼付用ペーパーをセットすると「P.END」の ＬＥＤ は消灯し、貼付を開始できます。

5－3－2　異常時の操作

注：「AUTO」スイッチが押されていない場合も同じです。

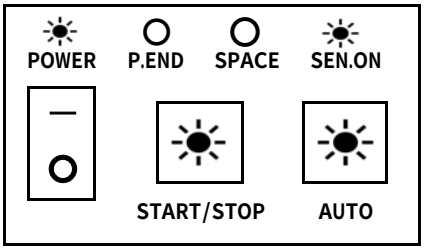
1．ペーパーホルダーのセットミス

「START/STOP」スイッチを押し、ＬＥＤ が点灯し、警報ブザーが鳴り続けている場合はペーパーホルダーのセットミスです。

貼付動作は開始できません。

「START/STOP」スイッチをもう一回押し、警報ブザーを停止させペーパーホルダーを正しくセットしてください。

ペーパーホルダーのセットミス音	- - - - - - - - - - - - - - - - - -

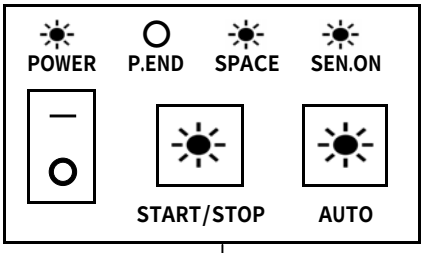


2．隙間センサーによる検出

貼り付けられたペーパーの隙間が1mm以上の場合、隙間センサーが隙間を検出し、貼付動作は停止します。

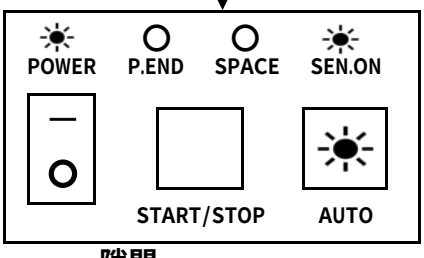
「SPACE」の ＬＥＤ が点灯し、警報ブザーが鳴ります。

隙間センサーによる検出ブザー音	ーーーーーーーーーーー



「START/STOP」スイッチを押すと「START/STOP」スイッチの ＬＥＤ が消灯し、［ブザー音」は停止します。

「SPACE」の ＬＥＤ も消灯しますが隙間部分が隙間センサーより外れて停止しているためです。隙間が広い場合は点灯しています。

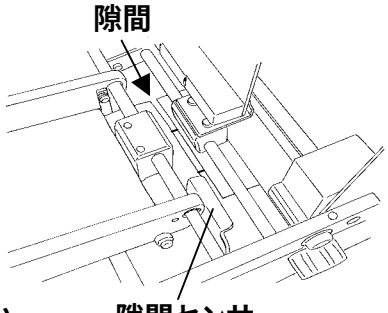


ペーパーホルダーカバーを開け、確認してください。

隙間が 2～5mm 程度の場合は、ペーパーホルダーカバーを閉じ、貼付テープがローラーに貼り付かないようにペーパーを手で引きながら、「ペーパー送りノブ」を回してペーパーを送り出してください。その時、次のペーパーが正しく貼付が出来ている事を確認してください。

正しく貼付ができている場合は、「START/STOP」スイッチを押して作業を行ってください。

隙間が 5mm 以上の場合は、貼付テープのセットからやり直してください。



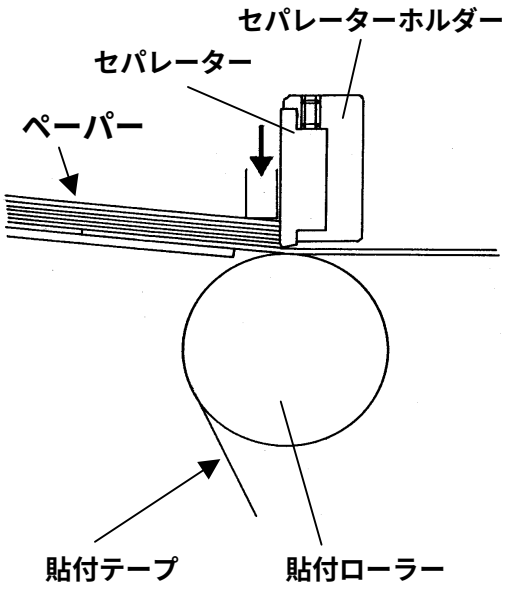
５－４　セパレーターの調整

本機は重なった複数のペーパーから、ペーパーを１枚ずつ引き出すために、［セパレーター］でペーパーの通り抜ける間隔を調整し、制御しています。
従いまして、［セパレーター］の調整は非常に重要です。厚みの異なるペーパーを処理する場合は、調整が必要になります。以下の手順に従い、調整を行ってください。

注１　：［セパレーター］と［貼付ローラー］との間隔が広すぎる場合は、２枚出てくる貼付不良が起こります。

注２　：［セパレーター］と［貼付ローラー］との間隔が狭すぎる場合は、ペーパーに傷がつきます。

注３　：［セパレーター］と［貼付ローラー］との間隔の左右のバランスが取れていないと、蛇行接着の原因になります。



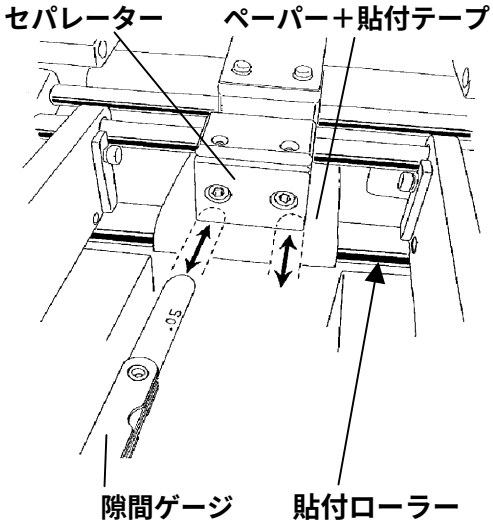
［セパレーター］と［貼付ローラー］との間隔の確認

１．［セパレーター］の下に［貼付テープ］の貼られた１枚のペーパーをセットし、［ペーパーホルダー］を［ペーパーホルダーロックレバー］でロックしてください。

２．隙間ゲージの［0.05］を［ペーパーホルダーロック］レバー］を少し緩めて、［セパレーター］とペーパーの間に挟み、再度［ロック］してください。

３．隙間ゲージを引き抜いてください。
やや抵抗があるが、引き抜ければ間隔は正常です。
（少し、音がする程度）

４．［セパレーター］の両サイドで同じ間隔であることを確認してください。



［セパレーター］と［貼付ローラー］との間隔の調整

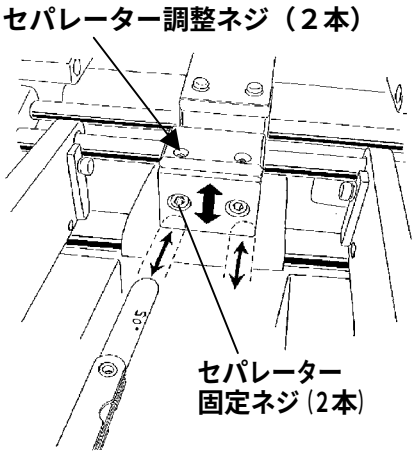
［セパレーター］の調整が必要な場合は、下記の手順で［セパレーター］の高さを調整してください。

１．［セパレーター調整ネジ（２本）］を軽く締め付けてください。（緩んでいる場合があります）

２．［セパレーター固定ネジ（２本）］を緩めてください。

３．隙間ゲージの［0.05］を［ペーパーホルダーロック］レバー］を少し緩めて、［セパレーター］とペーパーの間に挟み、再度［ロック］してください。

４．上記「間隔の確認」と同様に、隙間ゲージを手で抜きながら、［セパレーター調整ネジ］で［セパレーター］の高さを調整してください。



注１　：［セパレーター］の間隔を広げる場合は［セパレーター調整ネジ］を左（反時計方向）に回してください。

注２　：［セパレーター］の間隔を狭める場合は［セパレーター調整ネジ］を右（時計方向）に回してください。

注３　：［セパレーター調整ネジ］の回す角度は、１回に約１０度にして、テストを行いながら、少しずつ調整してください。　約１０度の回転で、0.02㎜ 移動します。

５．［セパレーター固定ネジ（２本）］をしっかりと締め付けて、固定してください。
［セパレーター固定ネジ（２本）］を締め付けた後、隙間ゲージで再度確認してください。
［セパレーター］の両サイドでも同様に確認してください。
調整が不備の場合は最初からやり直してください。

注：［セパレーター］の間隔調整は非常に微妙なため、少しずつ、繰り返し調整を行ってください。

５－５　作業終了時の注意

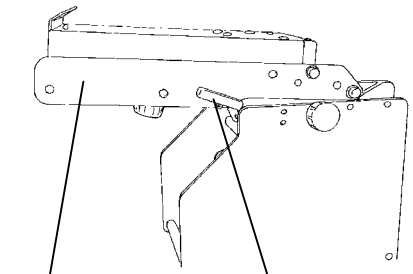
作業終了時には［ペーパー送り押えローラー］の変形を防ぐために［ペーパーホルダー］を浮かしておいてください。

ペーパーホルダーの浮かし方

１．［ペーパーホルダーロックレバー］を右（時計方向）に回して、［ペーパーホルダー］のロックを解除してください。

２．［ペーパーホルダー］を手で少し持ち上げ、［ロックレバー］を戻してください。
（［ロックレバー］はバネにより自動で戻ります）

３．［ペーパーホルダー］をゆっくり降ろしてください。
［フック］により、［ペーパーホルダー］は浮いた状態になります。



ペーパーホルダー

ペーパーホルダーロックレバー